

第一回海外派遣キャリア演習 活動レポート

提出日：9月2日

派遣先：シンガポール

海洋生物資源学科 4年

1012029 坂口 藍子

7/22

8:30 に ANA チェックインカウンター前集合だったが、ビジネスクラスの方で待っていたのでなかなか皆と会えず少し不安になりました。

飛行機の座席は皆互いに離れていて、私は窓側で隣の人は40代ぐらいの女性の方でした。その方とは、飲み物が来なかったことを切掛けにお話をするようになり今回のこのプロジェクトや私の将来の、その方の海外生活のお話をした。その方とは今も連絡を取り合うほどの仲になりました。これが私の今回のプロジェクトでお会いした初めての社会人の方となりました。

空港から電車に乗り重いキャリーバックを引きながらホテルに向かいました。先生方の交渉のお陰で少し滞在費を安くしてもらうことができました。部屋は思っていた以上に綺麗でしたが掛け布団がなく、しかもクーラーがガンガンに効いていてリモコンが上手く動かないという環境で寝たため、翌日は一日中胃痛に襲われました。



7/23

8:30 に Tanjong Pagar で先生方と待ち合わせをして日本商工会議所を訪問しました。ここで東さんとお会いし、初めて名刺交換をして自己紹介を一人一人しました。まだシンガポールのことを何も知らない私たちにその国の文化・政治・経済についてわかりやすく教えていただき、このあとに続いた企業訪問でとても役に立つお話ばかりでした。

そのあと URA (Urban Redevelopment Authority) を訪問しました。ここではシンガポールの都市開発の今までの流れとこれからの計画について展示されていました。展示は10個のテーマに分かれており50個を超える視聴覚展示が1〜3階にわたってされていました。シンガポールの国全体の模型を見た時改めてこの国の小ささと都市計画のスピードの速さを感じました。

お昼はマックスウェルで食べ、そのあとタクシーで Japan Creative Center へ移動して時間が押していたため走って建物まで行きました。JCC では副田さんとお会いしました。シンガポールの旦那さんと3人のお子さんをお持ちで、主婦として家事や育児をこなされる一方海外でお仕事をされている副田さんは女子学生にとって憧れの女性です。副田さんが仕事をする上で大切にしている「Flexibility」「Dedication」「Patience」の3つを私も見習いたいと思いました。

そのあと、Makara の塚越さんとお会いし「グローバルに活躍したければ海外にまず飛び込め」「海外で生きていく上では日本を忘れその土地の感覚になること」「スペシャリストを活かしたジェネラリストになろう」という力強いメッセージをいただき改めてグローバルに活躍するということの意味を学んだ時間でした。

そのあと、MSD animal health の宮田さんとお会いしました。宮田さんは海洋大学のOBでもあり研究者としてお仕事をされているので、とても親しみを感じました。宮田さんはヨーロッパで7年間働かされていた経験があり、そこでの生活で苦労したことやシンガポールでの生活について色々教えていただきました。宮田さんは謙虚でおとなしい方に見えますが、本当はそれプラスとても熱い方だということがわかりました。

夜ご飯はマックスウェルで学生だけで食べました。





7/24

9:00Buona Vista で先生方と待ち合わせだったが、改札が複数ありすぐに会えませんでした。先生方が探してくれたお陰で無事会うことができ Japan Science & Technology Agency を訪問しました。小林さんと矢野さんが私達を迎えてくれました。ここでは私達が今回のプロジェクトで何度も足を運ぶことになった NUS（シンガポール国立大学）について教えていただいたので、自分たちが行く前に NUS のイメージを持つことができてよかったです。また、一ヶ月間で行う 4 つのプロジェクトに対して 1 つ 1 つアドバイスやご自身の意見をいただき、4 つのプロジェクトに対する基礎知識を持つことができました。

この後 NUS に行き、チョウ先生の研修室で研究室の方々とお昼ご飯を食べました。ピザやシンガポールのデザートが用意されていて研究室の方々と英語で色々なお話をしました。シンガポールに来て初めて英語を使ったのがこの時だったように思います。この日は NUS のサマープログラムの最終発表だったので、私達も聴講させていただきました。それぞれのチームがチーム内で協力して英語で発表している姿を見て、自分たちもこのようにプレゼンをしていきたいと思い、この発表スタイルをこの後につづいたプロジェクトの発表の見本にしました。

夜は安い掛け布団を購入するためトル・インディアに行き先生方と一緒にインド料理を食べました。ここで先生方と私生活の話をしたりして、より親近感を持ちました。







7/25

この日から本格的にプログラムが始まりました。10:00 に **Fuji Xerox** を訪問し金澤さんとお会いしました。ここでの会話は全て英語。英語で自己紹介・学校紹介をしたあと、初英語プレゼンをしました。この後に金澤さんにバクティが美味しいお店に連れて行っていただきました。

続いて **Aergis Recruitment** の重松さんとお会いしました。こちらへの訪問は当初のスケジュールになかったのですが、塚越さんが組まれているバンドの演奏を先生方が見に行かれたときお会いして急遽訪問が決まりました。突然のことだったにも関わらず、快く私達を迎えてくださいました。こちらではシンガポール人と日本人の中途採用のサポートをされています。今回のプロジェクトのうちの1つである伊藤忠商事のプロジェクトは「就業意識調査」がテーマだったので本当に参考になるお話ばかりでした。

この後、同じビルに入っているゼニライトブイに挨拶に行った。ゼニライトブイには次の週にお世話になった。

続いて日本貿易機構（**JETRO**）を訪問しました。石原さんが私達を迎えてくださりシンガポールの経済・歴史を教えてくださいました。お話された内容は決して簡単ではありませんでしたが、とてもいい社会勉強になりました。

移動する時にマーライオンを皆で見に行き記念撮影をしました。シンガポール4日目にして初めてシンガポールの観光名所に行くことができました。

この後、ラオ・パサに行き伊藤忠商事丸紅鉄鋼の佐藤さんと日通シンガポールの神谷さんとお会いし、夜ご飯を食べました。ここでも海外で働くことがどういうことかをお話を通して学びました。





7/26

第二回 Fuji Xerox プレゼンのために NUS に行き「ペーパーレス化に関する意識調査」アンケートを実施しました。最初は声をかけるタイミングなど分からず、さらに自分たちが NUS の学生ではないということから気後れしていましたが、何度もやっているうちにコツをつかみ自然に声をかけられるようになりました。この日は夏期休暇中ということもあり、あまり学生がいなかったのですが食堂の片端からアンケートを配布しなんとか 50 部回収できました。

15:00 から先生方と一緒に小松先生の元同僚の今野さんと木野さんにお会いするためアジア住友商事会社を訪問しました。お二人とお話して感じたことは同じ商社でも各会社によって雰囲気ややはり違うということです。会社というよりは担当されている部署によって違うのかもしれませんが、訪問した中で一番緊張した空気感がそこにはありました。

この日は先生方がタイに出発される日だったのでカフェ（Hi Cup）で全体と個人フィードバックをしました。私は学年が皆よりも 1 つ上ということもありチームリーダーに任命されました。先生方が不在の二週間皆をまとめる役割がここから始まりました。

夕食はマックスウェルで学生だけで食べました。



7/27

第二回 Fuji Xerox プレゼン準備をホテルでしました。

7/28

この日は初めてのオフ。証くんは体調不良のため部屋で寝ていましたが、残りのメンバーで Bugis に買い物に行きました。ここは衣服、靴、カバンやお土産を安くで売っているお店が3階建の建物の中にぎっしりと並んでいて、観光客や地元の人々にとっても人気がある場所です。私はここで面白いTシャツをお土産として買い、自分の服も買い本当に楽しい時間を過ごしました。その後、チャイナタウンに行ってここでもお土産を購入しました。





7/29

Fuji Xerox 成果発表を行いました。金澤さん以外に、黒羽さんやフランス人の女性社員の方が私たちのプレゼンを聞きに来てくださいました。企業でプレゼンを行う時にどこまで求められるのかということをここで学びました。この後に続いた3社ではその反省を活かすことを意識して取り組みました。

ゼニライトブイを訪問し、学校紹介・自己紹介をした後にウビン島で行う調査の計画内容を伝え、企業側と私たちが具体的に内容を詰め次の日からの調査準備をしました。



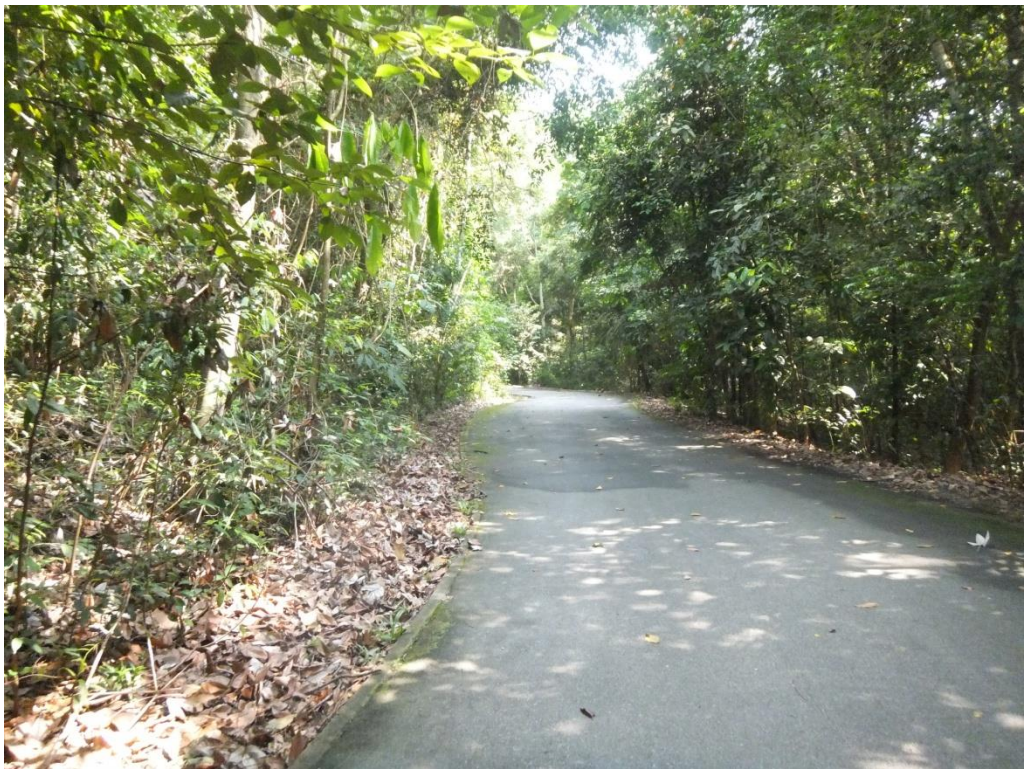


7/30

6:30 に MRT に乗り Tampines でバスに乗り換え終点まで行き、そこからさらに船に乗りウビン島に行きました。船は木材でできた古いもので乗客が 12 人揃わないと出してくれないというシステムで、IT 発展国シンガポールの別の一面を見ることができました。ウビン島に着いてすぐにボロボロの自転車を S\$5 で借り、船を観測出来るポイントを探しに行きました。道路は舗装されているのですが、左右はジャングルでココナッツが何メートルも上からものすごい勢いで落ちてくる中を走っていました。その道のりで、ボロボロの自転車のチェーンがいきなり外れてしまい歩かなければならなかったり、色々ハプニングがありましたが自然に癒され、いい汗をかきとても楽しい時間でした。

この後、撮影した映像をゼニライトブイの方々に確認してもらうために会社に寄らせていただきました。ここで、撮影方法や調査の方向性を相談し翌日の最終調査を有意義なものにするため話し合いました。







7/31

ウビン島2日目。この日は8:00にMRTに乗り15:00までウビン島で二手（藍子・みずき/証・彬）に分かれて観測を行いました。約束通り15:00に船着場に行くと証くんに「え！！！！藍子さんさっき船に乗っていましたよね！？僕手を振ったら、藍子さんも手振りましたよね！？」と言われ私が陸にいることに驚かれました。かなり私に似た方がいらっしゃったようです。見たかったな・・・。

8/1

部屋でゼニライトブイの最終発表のプレゼン作りに徹しました。

8/2

16:00からゼニライトブイで、2日間にわたって行った調査からわかったことや来年への課題を発表しました。今回のデータが無駄にならない様に来年からも続けてマレーシア・シンガポール国境の船の運行状況を調査しそこからブイの需要を明らかにしていくということを後輩たちにやっていって欲しいというのが、私達一期生とゼニライトブイの方々の願いです。

発表の後ゼニライトブイの土谷さんが中華料理店で夕食会を主催してくださりそこには土谷さんの音楽仲間であり、このプログラムが始まってすぐにお会いした塚越さん、宮田さんや最初のプロジェクトであったFuji Xeroxの最終発表に出席して下さった黒羽さんも招待されていました。美味しい中華料理をお腹いっぱい食べたあと、皆で黒羽さんのご自宅にお邪魔し生演奏を聴かしていただきました。本当に贅沢で素晴らしい時間でした。





8/3

シンガポールの観光名所の一つであるナイト・サファリに行ってきました。各動物が檻で飼育されているのではなく、かなり自然に近い状態で飼育されていて動物園に来ているという感覚ではなく野生動物を見ている感覚に陥るほどでした。ショーも観客参加型で、とてもこだわっているのを感じました。今度は家族と一緒に来ようと思います。





8/4

この日は朝から観光してきました。アラブ人街に行き、チャイナタウンやリトルインディアとはまた違った雰囲気の町並みで改めてシンガポールという国が多文化の中で成り立っているということを感じました。ここでフラッと立ち寄った香水瓶屋さんの店員さんが日本のいくつかのガイドブックに載っている方でした。それだけあって、日本語が上手でサービスもとても良かったです。エジプト産の手作り香水瓶が綺麗に陳列されていてどれを買おうか本当に迷ってしまいますほど、全ての瓶に特徴があって美しかったです。





8/5

16:00 に伊藤忠商事を訪問し陸さん、甲斐さんが私たちを迎えてくださいました。最初にシンガポール支所の社長にご挨拶に行ったあと日本で行ったアンケート結果をもとにした「学生の就職意識調査」のプレゼンをしました。プレゼン後のディスカッションでは企業の方々から私たち自身の就職意識に対する考えを教えてほしいと言われることもあり、改めて自分たちが将来に対してどのようなビジョンを持っているかを考える切掛けとなりました。

8/6

朝から NUS に行き前回行った食堂と、この時初めて行った U Town でアンケート 100 枚を実施しました。この時に、私がシンガポール人学生と思い声を掛けた方が、交換留学で NUS に来られている東大生の方で、プロジェクトに協力していただけるということで連絡先を交換しました。今回のプロジェクトが非公式の行事にも関わらず NUS の事務のリーリンさんが 100 枚印刷をしてくださり本当にお世話になりました。

帰り道に Buona Vista にある NTU に立ち寄ったのですが、ここはセミナーなどを行う場所で普段生徒が通う校舎ではなかったなので、アンケートを実施することはできませんでした。





8/7

この日は部屋でアンケートの集計をしていました。

8/8

この日は JST の小林さんと矢野さんと中華料理屋さんに行きランチをご一緒しました。前回お会いしたときは緊張していたこともありプロジェクトの話しかしなかったのですが、この日はリラックスして美味しいご飯を食べながらお二人の学生時代のお話や私たちの将来についての相談など本当に色々お話ができました。お二人ともユーモアがあってとても楽しい時間でした。

この後、Clarke Que に行き美容院 Ash 取締役で今回のプロジェクトのサポーターをしてくださった堀部さんの大学時代からのご友人である岩井さんとお会いしました。その時働か

れていた美容師の方が英語が話せないため、岩井さんが通訳をしなければならずとてもお忙しい様子だったので少ししかお話をお聞きすることができませんでしたが、今シンガポールを始め海外に日本の「かわいい」を広めようという動きがあるということを改めて感じました。シンガポールで人気のある「忍者娘」という日本のアイドルと力を合わせて岩井さんも日本の美容院がシンガポールに定着するような活動をされているそうです。

NUS は夜遅くまで食堂が開いているということで、先日前お会いした東大生の方とそのご友人と NUS で再会し、NUS の雰囲気やどんな学生がいるのかなどアンケートを実施しているだけでは見えてこないようなところ教えていただいたり、同世代ということもあり互いに将来に対する考え方を話し合ったり本当にいい刺激になった時間でした。



8/9

この日は National Holiday でした。夕方から花火を見るために Raffles Places に行きました。三機のヘリコプターが国旗をぶら下げ私たちの頭上を通過し、戦闘機が爆音を立てながら何度も往復していました。20:00 から花火が始まり、私はみずきちゃんと一緒に川沿いのインド料理屋さんでカレーやナンを食べながらマリーナ・ベイ・サウンズの横に上がる花火をゆっくりと見ていました。とても贅沢な時間でした。





8/10

夜、塚越さんと土谷さんの演奏を聞きに Clarke Que の居酒屋に行きました。そこでボーカルのリナさんやリナさんのお義父さんでもある Hello Japan 社長の森さんとお会いしました。宮田さんが奥さんと演奏を見に来られていたので、嬉しいことに一緒に食事をしながらたくさんお話をすることができました。





8/11

この日は Hari Raya でイスラム教徒の方々が7月から始まったラマダン（太陽が出てい
つあいだは飲食禁止）が明けたことを祝う日ということで、イスラム教に改宗された JCC
の副田さんが私たちをご自宅に招いてくださったので、Clarke Que に花束を買いに行った
のですが開店前だったようで、店員が誰もいませんでした。たまたま隣のお店に店員がい
たので花束をどうしても買いたいと伝えたところ、花屋の人に電話をしてくれ代わりにそ
の方が代金を受け取ってくれ花束を売ってくれました。その後すぐに Tampines まで行き、
バスに乗って副田さん宅に向かいました。副田さん家族が私たちを暖かく迎えてくださり、
美味しいマレー料理をたくさんいただきました。





8/12

10:00 に Tanjong Pagar で先生方と待ち合わせをして、先生方不在中の二週間の活動の振り返りとこの直後に行った伊藤忠商事最終プレゼンの修正を行いました。

12:00 から伊藤忠商事で男性 4 人、女性 8 人を対象に Johnson&Johnson の「男性スキンケア」の調査のためにグループインタビューを行いました。ラオ・パサでランチをして 13:30 から伊藤忠商事最終プレゼンを行いました。

その後、J&J の第一回プレゼンを外国人スタッフ 5,6 名の前で行い、スタッフの内の一人から次回のプレゼンで最低二個商品を開発して、販売方法・価格設定などの詳細も含めてプレゼンをしてほしいという課題をいただきました。今までのプレゼンではこういった課題をいただくことがなかったですし、聞いてくださる人数も 2,3 人程度だったので今回の J&J でのプレゼンは緊張感もありましたがそれ以上に自分たちのプレゼンを多くの方々に聞いていただけている嬉しさでいっぱいでした。

18:30 から JUGAS（日本留学生同窓会）の夕食会に参加させていただきました。ここでは日本の大学に留学された経験のある方々と日本語で私たちのプログラムの説明をしたり、シンガポールと日本の教育環境の違いなどを日本食を食べながらお話をしました。皆さんとても日本語がお上手で、感心するばかりでした。





8/13

J&J プロジェクトのため、シンガポールではどのような男性スキンケア商品が販売されているのか確認するためにドラッグストアやコンビニに行き店員に詳しく話を聞き、インタビューを行う上で参考にしました。続いて、NUS に行き二手に分かれてアンケートをベースとしたグループインタビューを行いました。このインタビューは NUS の学生と話ができるいい機会でもありました。

8/14

FUJI Xerox で男性 2 人、女性 2 人を対象に J&J のグループインタビューを行いました。お昼はインターナショナルプラザで食べました。

NUS に最終アンケート形式グループインタビューを行いに行きました。これが最後のフィールドワークでした。部屋に帰り、すぐにアンケート集計・PPT 作成・商品開発を行いました。私は先に寝ましたが、彬ちゃんとみずきちゃんはシンガポールのレッドブルを飲んで朝方まで頑張っていました。

8/15

14:00 に Kent Ridge で先生方と待ち合わせをして J&J に向かいました。この時は不安も何もなく、自分たちが準備したプレゼンにとっても自信を持っていました。15:00 からプレゼンを始めたのですが、前回の部屋の二倍の広さの部屋が用意されており、人数も倍近くの方々が来てくださいました。私達が開発した商品にとっても興味を持ってくださり本当に嬉しかったです。この後、J&J の研究所内を案内していただきました。本当に貴重な体験で

した。

全てのプロジェクトがこの日終了し、黒川さんが私たちをご自宅に招いてくださり BBQ を斉藤さんと黒川さんご家族としました。途中から J&J のスタッフの金子さんが参加してくださいました。金子さん前日までアメリカにいて時差ボケを感じているにも関わらず、私たちのプレゼンを聞けなかったからといって BBQ に駆けつけてくださり色々お話ができてよかったです。黒川さんの奥様も私たちのプロジェクトを影で支えてくださった方のお一人なのでとても感謝しています。双子のお子様もとても元気で本当に楽しい時間を過ごせました。

8/16

9:00 に NUS のチョウ先生の研究室に行き、研究室の方々にセントジョンズ島に連れて行っていただきました。ここには NUS の研究所があり、海洋大学の研究施設と同じような雰囲気でした。チョウ先生がチャーターしてくださった往復の船からはシンガポールのダウンタウンを外側から見ることもできるというとても貴重な体験でした。

日本商工会議所での最終成果発表の前に皆がお気に入りのカフェ hi cup で 30 分弱のリハをして最終確認をしました。

16:00 から日本商工会議所で今回のプログラムの最終成果発表を行いました。今までお世話になった企業の方々がお忙しにも関わらず集まってくださり、私達がシンガポールでこの一ヶ月どのようなことを学んできたのかを真剣に聞いてくださいました。参加者の方々から最後にコメントをいただい、私たちの今回の取り組みを評価した言葉をいただけた時には本当に涙が出そうなほど嬉しかったです。

この後、バスで移動し中華料理屋さんに参加者の方々と行きました。ここでは二つのテーブルに分かれて食事をしました。今まで違う場所でお会いしてきた、職業の異なる方々が一つの場所に集まり色々なお話をされている中に同席できたことはとても光栄に思いました。



8/17

先生方とお昼から **Tanjong Pagar** のカフェで今回のプロジェクトを初日から最後の日本商工会議所での発表の日までの活動を振り返りました。第一期生ということもあり、先生方が想定していなかったことが起きたり、現地入りする直前まで具体的な情報が得られなかったりと現地で苦勞したことが何点かあったので、これらの事を二期生からは改善して欲しいという私たちからの要望や、これからは是非続けて行って欲しいと思うこと、また反省すべき点について話し合いました。

その後、同じ場所で個別に小松先生と堀部さんそれぞれから今回の活動を通してその学生の長所やもっと良くなった点、今後の課題をコメントしていただきました。先生方からだけでなく自分以外の他の学生からも一対一で相手の今回の活動に関してコメントし合いました。この時間を通して、自分がこの一ヶ月でどれ程成長できたのか、これから先自分がすべきことは何か、自分がどのような可能性を秘めているのか気づくことができたと思います。

夕食は私達がずっと行きたいと思っていたリトル・インディアにあるペーパーチキンで有名なお店に先生方と一緒に去了。ペーパーチキン以外の料理もとても美味しかったので帰国する前に行くことができて良かったです。



8/18

シンガポール生活最後の日。この日は証君のルームメイトで中国から語学留学に来ていたジャッキーとチャイナタウンに行き四川料理を食べ、お世話になった小松先生、堀部さんへの世界に一つだけのプレゼントを買いました。ジャッキーとの出会いを切掛けに私と証君は第三言語として中国語を始めようと思いました。シンガポールの公用語は英語とされていますが実際、私たちのホステルがあった **Common Wealth** というローカルの方々ばかりが住む場所では英語が通じないことが多々ありました。ほとんどの人が中国語を話していてまるで中国で生活をしているような感覚でした。中国語が話せるようになったらもっとローカルの方々とコミュニケーションが取れただろうし、この一ヶ月で出会った日本人のビジネスマンの方々の中には第三言語をお持ちの方が何人もいらっしゃいました。私もアジア人の一人なので日本語以外のアジアの言語を使いこなせるようになりたいなと思いました。

この後リトル・インディアのムスタファセンターに行きました。ここでは先生方への少しユニークなプレゼントを買いました。急いでホステルへ帰り、一ヶ月間お世話になったホステル近くのフードコートでプレゼントを完成させ、**Tanjong Pagar** へ向かい最後の夕食を永井先生と **NUS** に通っていた杉沢さんと私たち海外探検隊シンガポールチームで取りました。最後の夕食は海鮮ラーメンがとても美味しいお店でした。

先生方のホテルに行き一人一人10分程度のインタビューをカメラが回る中で受けました。全ての質問に止まることなく答えられた自分の姿を思い返すと、この一ヶ月間たくさんの方々の暖かいサポートのお陰で自分たちの最大の力を出し切ることができたという感謝の気持ちと共に、全てのプロジェクトをやりこなしてきた自分に自信を持つことができた結果だと思います。





8/19

朝5時にホテルを出て一台の車で先生方と空港へ向かいました。朝早くて皆ぼ一っとしていましたが、翌日の便でタイに向かわれる小松先生、堀部さんとのお別れの時はやはり寂しかったです。ここまで毎日忙しく充実した日々を過ごせた夏休みは人生で初めてでした。一ヶ月間は本当に短かったですが、こんな短い期間でも自分の成長を感じることができ、この先も大事にしていきたいと思う人々との出会いがありました。このプログラムは一ヶ月間を乗り切るというのではなく、この先にある自分の人生の中で活かしていくという所までがプログラムだと思いました。このプログラムの第一期生になれた事を本当に誇りに思います。今回お世話になった方々への感謝の気持ちを表す意味でも今後、活動報告を一生懸命行っていきます。

